



温暖化とめるっちゃんネットワークやまぐち
キャラクター とめ麻呂くん



CO2

脱炭素 まちづくり カレッジ

参加無料

申込フォーム



地域内のプレイヤーが協力して、
2030年までに温室効果ガス半減を目指す
ロールプレイング型カードゲーム体験会です。



12月15日(日) 13:00~16:00 受付=12:45~

会場：湯田地域交流センター 学習ホール
(山口市湯田温泉5-5-50)

対象：中学生以上の山口市民

定員：30名(先着)

申込：11月27日(水)までに上記申込フォームへ

問合せ:温暖化とめるっちゃんネットワークやまぐち
(山口市環境政策課内)

TEL:083-941-2181

MAIL:tomeruccha@orion.ocn.ne.jp

脱炭素まちづくりカレッジとは？

地域内の様々なプレイヤーが対話・協働し、2030年半減に向けてまちづくりの推進を疑似体験するロールプレイングゲーム型の未来体験プログラムです。参加者は、20種類のプレイヤーの中から、1つの役割を演じ、2030年までに自分の排出量、地域全体の排出量の半減に向けて、様々なプロジェクト実施にチャレンジします。

プロジェクト実施に向けて、他のプレイヤーと資金や人的ネットワーク、情報を交換し、協働することが重要です。プロジェクトの中には、大幅削減につながるもの、逆に増えてしまうもの(トラップ)もあるので、プロジェクトをよく知るが必要不可欠。排出量の状況に応じて、地域には「大規模災害」「食糧危機」「感染爆発」など、気候変動による負の影響が生じることもあります。



ゲームで体験できる2つの「見える化」

MY CO2の見える化

オリジナルのwebツールを用いて、市民一人ひとりのカーボンフットプリントを算出し、自分の生活を振り返り、チームで共有する。



地域 CO2の見える化

都道府県別のカーボンフットプリントデータや市区町村別の排出量データを共有し、地域の課題を確認する。



【ファシリテーター】

阿部 昭彦

脱炭素まちづくりカレッジ公認ファシリテーター
全国ご当地エネルギー協会事務局次長
一般社団法人SDGs未来ラボ代表理事

体験者の声

- ・最初は自分のことだけ考えて行動していたが、徐々に全体的こと、他のプレイヤーのことに気配りするようになった。
- ・プロジェクトの意味合いを考える大切さを実感できた。
- ・一番最初に出したカードがトラップカードでとてもショックだった。
- ・プロジェクトの内容をよく考えないで動いていたことを改善すれば結果がもっと良くなると思った。
- ・意味も分からないで行動してしまった結果、脱炭素に逆効果の動きをしてしまった。
- ・ゲームのように現実世界でももっと「見える化」をしていかないとならないと感じた。行政主導では是非実行してほしい。

